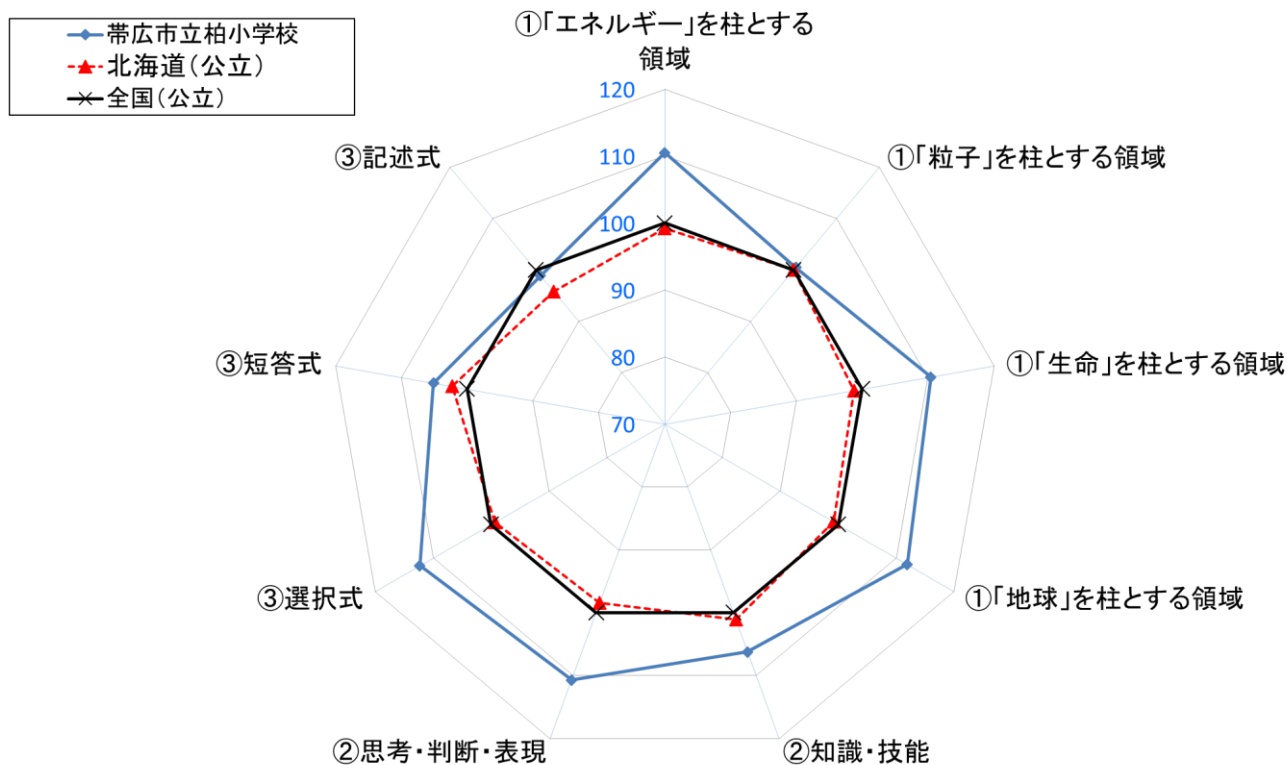




## 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果より

前号に引き続き理科と児童質問紙の結果と分析についてお伝えいたします。尚、理科についても数値は全国平均を100とした場合の比率(%)で示しています。

### 柏っ子の学力について (理科)



#### <理科の結果と分析>

理科の結果は全道・全国平均を大きく上回りました。

- 基礎的・基本的な知識があり、思考・判断・表現を伴う問題に対しても対応して解くことができました。
- 選択式の問題では深く考えて適切な解答を選ぶことができました。
- 「水蒸気」という言葉が出てこなくて「水」「水分」と書いてしまう児童が多くいました。
- 記述式の問題になると正答率が低くなる傾向がありました。グラフから読み取ったことを文章にして書くことを苦手とする傾向が見られました。
- メスシリンダーのメモリの読み方の約束を忘れてしまった児童が多くいました。

# 学校と家庭の連携で学力アップ！～机に向かう習慣を～

全国学力・学習状況調査の結果を受けて、学校と家庭が両輪となって、次のことに意識して取り組み、児童の学力向上につなげていきたいと考えております。保護者の皆様もご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 学校では



校内研修を中心に授業改善を図っています！

### ①教師の肯定的な言葉かけから生まれる学級風土づくり

「受け止める」「反応する」「ほめる」を重視し、「学級の中で認め合う姿」「安心して、発表できる学級」づくりに重点を置いています。それにより児童が主体的に学ぶことができ、意欲的・対話的に問題解決に向かうことができる取組を進めています。

### ②自らの学びを見通し、自らの探求の姿を振り返り活動

児童一人一人が「何を学ぶ」「どうやって学ぶ」かを把握し見通すことで、主体的な学びに繋がっています。学びをしっかりと確認するために、振り返りに力を入れています。

①わかったこと、できるようになったこと ②自分の勉強の姿、成長したこと、喜び

③これからに向けて、目標とすること ④友達と学んで気付いたこと ⑤友達の良いところ

### ③「見方・考え方」を働かせ児童自らが問題を発見し、解決できるような問題、課題の設定

児童が「やりたい」という意欲をもち学習に取り組み、「どうしてだろう」「調べてみたい」「解決したい」と意欲的に取り組めるような課題の提示を行っています。

### ④自己の考えを深め、広げるために児童同士が協働する活動

一人では解決できない課題であってもペアやグループであれば解決へと向かうこともあります。考えや知識を伝え合う学習を行っています。その際には自分の立場を明確にして議論する活動を取り入れています。

### ⑤そのほかには

- ・ チャレンジテスト等を分析し苦手な傾向がある問題を解き直します。
- ・ 少人数指導や習熟度別指導などで複数の教師で個に応じた授業を行います。
- ・ 朝学習や家庭学習を利用して漢字や計算の反復練習を行います。
- ・ 一人一台端末を活用して個別最適な学習を行います。
- ・ 児童のよい行動をたくさんほめていきます。

### ① 机に向かう時間を確保しましょう。

- ・ 「10分間×学年+宿題」を目標に家庭学習に取り組みましょう。
- ・ 時間帯を決めて毎日継続していきましょう。
- ・ 自分で計画を立てて取り組むことが大事です。  
(家庭での言葉掛けや励ましをお願い致します)

### ②テレビやゲームの時間を決めましょう。

- ・ 自分の生活を振り返り、視聴時間を再確認しましょう。
- ・ テレビやゲームの時間を減らして、計画的に家庭学習に取り組みましょう。  
(ストップ・ザ・見放題)

### ③心がふれあう時間を確保しましょう。

- ・ 1日1回は学校の話をするなど、子どもの気持ちに寄り添う時間を確保していきましょう。
- ・ 子どもの頑張りや良いところを認め、どんどんほめましょう。  
(子どもはほめられることで伸びていきます)

## 家庭では

